

# HAKKO FV-802 SEALER

## 取扱説明書

このたびはハッコーシーラーFV-802をお買い上げいただきありがとうございます。この説明書をお読みにになり、正しくお使いください。お読みになった後は、後日お役に立ちますので、大切に保管しておいてください。

### 警告

人体や製品に損傷を与える危険性のある場所には警告・注意文を表示しています。表示が外れた場合は再度表示し直してください。

注意：ハッコーシーラーFV-802を持ち運ぶ際は、ハンドル部のみを持たないように注意してください。

## 1. セット内容

まず最初にセットの内容をご確認ください。

本体	1	フッ素樹脂テープ	2
溶着用ヒーター	2	粘着テープ	2
溶断用ヒーター	2	取扱説明書	1

## 2. 仕様

品名	ハッコーFV-802
電源	AC 100V
消費電力	溶着用ヒーター使用時 260W 溶断用ヒーター使用時 240W
シール寸法	1.6 × 200 mm (Max.)
シール能力	0.2 mm (ポリエチレン2枚以上の合計厚み)
外形寸法	80 (W) × 200 (H) × 330 (L) mm
重量	2.7 kg

※工場出荷時は溶着用でセットされています。  
※仕様および外観は改良のため予告なく変更することがありますが、あらかじめご了承ください。

## 3. 安全及び取扱い上のご注意

この説明書では、注意事項を下記のように「警告」「注意」の2つに区分して表示しています。内容をよく理解されてから本文をお読みください。

警告：誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意：誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的のみが発生が想定される内容を示しています。

●安全のため以下の注意事項を必ず守ってください。

### 警告

使用されるコンセントが取扱説明書の「2. 仕様」に掲載している電圧、電力がとれることを確認してから使用してください。タコ足配線、延長コード（コードリール）を使用されますと機械が正しく動かないばかりか火災の危険性があります。規定電圧以外の電源に接続すると機械故障、ブレーカOFF、火災など思わぬ事故が発生する危険があります。また、電源プラグは根元まで差し込んでから使用してください。

取扱いを誤ると、やけど・火災の恐れがありますので、以下の注意事項を必ず守ってください。

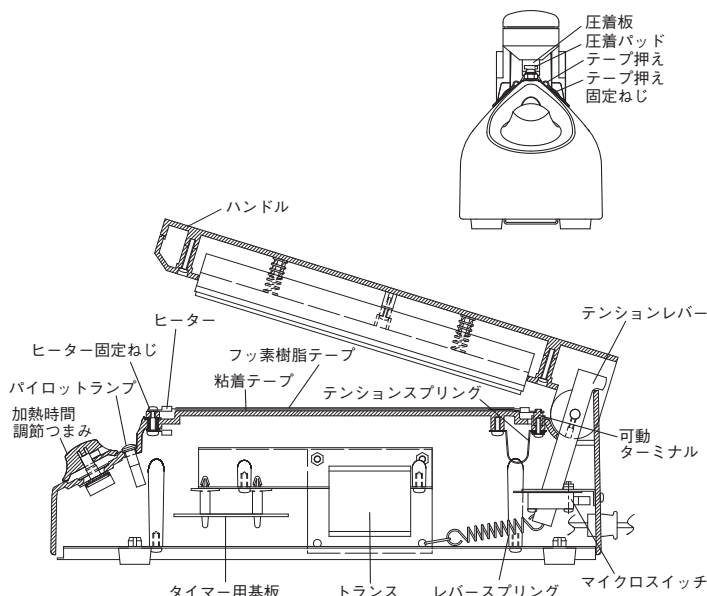
- 本体のシール部分は、ランプが点灯している間加熱され高温となっています。また、ランプが消えてからもしばらくは余熱で熱くなっています。やけどの恐れがありますので、シール部分には絶対に手を触れないでください。
- 連続使用の場合は、10～15秒サイクルの間隔で使用してください。連続使用すると、火災などの恐れがあります。
- フッ素樹脂テープから煙や炎が発生した場合は、速やかにハンドルを押さえるのをやめて、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 感電の危険がありますので、シール部に金属製の物を差込まないでください。
- 部品交換や修理の時は必ず電源プラグを抜き、冷却されてから行ってください。
- 電源コードが断線した場合は、危険を避けるため、メーカーもしくはサービス代理店、同等の資格がある人に交換してもらい必要があります。
- 修理技術者以外の方は絶対に分解・修理は行わないでください。また改造は行わないでください。
- 安全な方法による機器の使用に関して監督または指示が与えられ、また内在する危険源を理解されている場合、経験や知識のない者（8歳以上の子供を含む）が、この製品を使用しないように注意してください。
- 子供がこの製品で遊ばないように注意してください。
- 清掃および使用者による保守を監督なしに子供に行わせないでください。

●故障や事故につながりますので、以下の注意事項を必ず守ってください。

### 注意

- 本機の使用目的以外に使用しないでください。
- 電源コードやプラグが痛んでいる、コンセントの差し込みがゆるい場合は使用しないでください。
- 粉塵が充満している、常温でない、温度が高い場所や熱に弱い敷物の上で使用しないでください。
- 本品を濡らしたり、濡れた手で使用、水物（汁物）の包装には使用しないでください。
- 水平な面を持つ適切な作業台の上に設置してください。
- 本品を落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。
- 交換部品には、純正部品を使用してください。
- ご使用にならない時は電源プラグを抜いてください。
- コードの抜き差しはプラグを持って行ってください。
- 収納時は本体が冷却された後収納してください。
- 電源コードを無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったりしないでください。
- 幼児の手の届かない所に保管してください。
- 修理技術者によって点検、部品交換を定期的に行ってください。
- その他危険と思われる行為は行わないでください。

## 4. 各部名称



## 5. 使用方法

- ① プラグを電源コンセントに差し込んでください。
- ② 袋の材質、厚さにより表を基準に加熱時間調節つまみを調整してください。
- ③ 袋の口をシール台上に置き、上部ハンドル部を押し下げてください。
- ④ スイッチが入りパイロットランプが調節した時間点灯し消えます。
- ⑤ パイロットランプが消え1～2秒後にハンドルを上げます。

### 溶着時の加熱調整表

目盛り	材質	ポリエチレン	ポリプロピレン等 高温フィルム
1			
2		0.06mm以下	
3		0.10mm以下	0.04mm以下
4		0.20mm以下	0.06mm以下
5			0.08mm以下
6			

- 厚さは2枚以上の合計です。
- 上表は基準値です。材質、電圧により変わります。最適の目盛りに合わせてください。

### △ 注意

- ・パイロットランプが消えてから1～2秒ハンドルを押しした状態にしますと、冷却され、きれいにシールできます。(溶着時)
- (冷却が少ないとシールが波になる、シールが弱い等の不完全なシールになります。)
- ・ヒーター交換の際、粘着テープの消耗が激しい場合は同時に交換することをお勧めします。消耗の激しい粘着テープを使用し続けると、ヒーター断線の原因となります。

## 6. 保守

### ① フッ素樹脂テープの交換

フッ素樹脂テープが熱により消耗しますので下記の方法で取り替えてください。テープ押え板を止めているねじ4本をゆるめフッ素樹脂テープを取り外し、新しいフッ素樹脂テープをテープ押え板に差し込み、まず片側のみビスを締め、テープを固定し反対側のテープ押え板に差し込み、テープのゆるみがないようにねじで固定してください。

### ② ヒーターの交換

ヒーターが断線しましたら下記の方法で取り替えてください。  
フッ素樹脂テープの交換方法によりフッ素樹脂テープを外し、断線したヒーターを取り除きます。  
新しいヒーターを後側の可動ターミナルに引っ掛け前方向に引っ張り、前面のヒーター固定ねじで止め、その上にフッ素樹脂テープを取り付けます。

### △ 注意

- ・導通不良にならないよう、ねじをしっかり締め付けてください。
- ・溶断用ヒーターは溶着用ヒーターに比べて温度が高くなります。溶着用ヒーターから溶断用ヒーターに交換した時は、タイマーの目盛を調節してください。

### ③ 粘着テープの交換

ヒーターの下側にある粘着テープが消耗したまま使用しますと、ショートする恐れがありますので取り替えてください。  
フッ素樹脂テープ及びヒーターを取り外し、消耗した粘着テープをはがし、新しいテープを貼り付けてください。その後ヒーター、フッ素樹脂テープを取り付けてください。

### △ 注意

粘着テープの取付けには方向があります。  
補助テープの貼り付けは必ず可動ターミナル側にし、取り付けてください。  
(補助テープは、テープ補強の為貼り付けてありますので、はがさずご使用ください。)

粘着テープ ————— 補助テープ

## 7. 点検方法

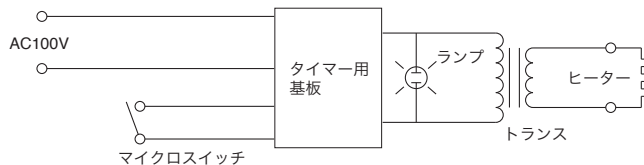
故障箇所	原因	修理方法
ランプ及びヒーターに電気が来てない	差し込みプラグ不良	プラグ交換
	電源コードの断線	コード交換
	タイマー回路不良	タイマー用基板交換
	マイクロスイッチ不良	マイクロスイッチ交換
ランプは点灯するがヒーターが熱くならない	ヒーターの断線	ヒーター(粘着テープ)交換
ランプが点灯したままとなり、ヒーターが加熱し過ぎる	タイマー回路不良	タイマー用基板交換
	マイクロスイッチ不良	マイクロスイッチ交換
ヒーター及びフッ素樹脂テープの寿命が短い	シール時間が長過ぎる	シール出来る最少目盛にする
	冷却時間が短い	冷却時間を長くする

- その他、原因不明の時は代理店に連絡してください。

## 8. 交換部品

品番	部品名	仕様
306-H	溶着用ヒーター	1.6 × 200 mm 5本入
307-H	溶断用ヒーター	ピアノ線状 5本入
306-2	フッ素樹脂テープ	ヒーターカバー用 5枚入
307-3	粘着テープ(補助テープ付)	ヒーター保護用 5枚入
B3050	マイクロスイッチ	
A1545	圧着パッド	シリコン製
B2975	基板/タイマー用	100V用
A1562	パーツセット/溶着用	ヒーター: 2本、フッ素樹脂テープ: 2枚、粘着テープ: 2枚、圧着パッド: 1枚
A1563	パーツセット/溶断用	ヒーター: 2本、フッ素樹脂テープ: 2枚、粘着テープ: 2枚、圧着パッド: 1枚

## 9. 回路図



白光株式会社

<https://www.hakko.com>

〒556-0024 大阪市浪速区塩草2丁目4番5号

TEL: (06) 6561-1574 (代) FAX: (06) 6568-0821